



NPO 特定非営利活動法人

埼玉森林サポータークラブ

コミュニケーション・ニュース

【平成31年1月1日 発行（季刊） VOL. 77】

「新しい年を迎えて」 会長 霜触 賢

あけましておめでとうございます。

本年が埼玉森林サポータークラブの皆様にとりまして良き年になりますよう祈念し、新年のご挨拶を申し上げます。



お陰様をもちまして昨年は大きな事故もなく安全な活動ができたことは、クラブ員の皆様のご支援、ご協力の賜物であり深く感謝いたします。

また、永年クラブの発展に大きな足跡を残され指導的な役割を果たされながら、昨年5月に急逝されました故 竹原照雄副会長に対しまして改めてご冥福をお祈りいたします。

昨年はくるみ小屋、緑の森博物館、越生ふれあいの里山の安全祈願を皮切りに各フィールドとも、一部悪天候による中止はありながらも安全に活動を実施することができました。

また、安全な活動に欠かせない動力講習として「刈払機」「チェーンソー」の講習も一般参加の方やクラブ員の再受講者も含めて多数の参加を得て実施されました。

対外的な活動では、オークネット社森林活動、遊協海岸防災林整備、トヨタソーシャルフェスタ植樹、梅園小学校間伐体験、杉戸農業高校森林管理活動などの支援活動を行ってきました。また、「2018彩の国食と農林業ドリームフェスタ」も、くるみ工房の頑張りでクラブのブースに多くの人が集まり盛況でした。これらの対外的活動が報道やホームページで紹介されクラブのPRになればと期待しております。

さて、わが国では高齢化が問題になっておりますが、当クラブでも避けられない問題です。そのためには様々な機会をとらえ、またホームページ

の充実も図りクラブの情報発信を進めて新規会員の増加を図って行かなければなりません。現下の問題としては活動内容の見直しが必要ではないかと思えます。

昨年は酷暑時の負担軽減を目的に夏時間制を導入いたしましたが見られないとの意見もあり今年を取りやめることにいたします。その代わり、酷暑時の作業回数を減らす、下草刈り作業を前倒して行う、レクリエーション的な活動を考えるなど、いろいろな工夫をしていきたいと思えます。みなさまもアイデアを考えてみてください。

また、一定の整備成果が上がったフィールドの活動回数や内容も再検討することも必要です。スケジュールありきではなく、余裕を持った活動が安全な活動の第一歩ではないかと思えます。森林の整備活動は息の長い仕事です。

「山を元気に」「山で元気に」なるためにも、本年も安全で楽しい活動を心掛けていきましょう。



トヨタソーシャルフェスタ植樹



2018彩の国食と農林業ドリームフェスタ

活動記録 (2018年9月・10月・11月)

月 日 曜日	フィールド	活動内容	参加者数
9月8日 土	越生ふれあいの里山	チェーンソー 実技講習 1	34
9月9日 日	越生ふれあいの里山	チェーンソー 実技講習 2	32
9月15日 土	笠幡の森	林内整備 雨天中止	0
9月16日 日	くるみ小屋	小屋周辺整備	8
9月18日 火	県信連 (JAバンク)	寄付金贈呈式	9
9月19日 水	さいたま市民活動支援センター	理事会	15
9月22日 土	宝登山の森	除伐・ツル切り	11
9月23日 日	緑の森博物館	下草刈り 除伐	17
9月26日 水	日遊協 共生の森 (若林区荒浜)	葛対策 下草刈り・薬剤注入 会員5名	12
9月27日 木	さいたま市民活動支援センター	ニュース印刷と編集会議	9
10月4日 木	朝志ヶ丘 小寺の森	下 見	8
10月8日 土	鷹ノ巣の森	竹の除伐、下草刈り	10
10月7日 日	高谷の森	地拵え	21
10月8日 月	鴻巣市 屋敷林	林内整備	18
10月10日 水	朝志ヶ丘 小寺の森	林内整備 下草刈り、小枝処理	12
10月13日 土	上古寺の森	地拵え	7
10月14日 日	くるみ小屋	小屋周辺整備	7
10月14日 日	高谷の森	地拵え	20
10月20日 土	高谷の森	種樹 山桜 山紅葉 山グリ 赤松 コナラ	82
10月21日 日	くるみ小屋	下草刈り	16
10月24日 水	朝志ヶ丘 小寺の森	下草刈り 枯損木処理	12
10月27日 土	笠幡の森	林内整備	12
10月28日 日	緑の森博物館	除伐・ツル切り	17
11月3日 土	橋川市 屋敷林	林内整備	26
11月4日 日	黒山の森	間伐 灌木処理	12
11月7日 水	朝志ヶ丘 小寺の森	林内整備 枯損木処理・枯れ枝の集積	10
11月9日 金	越生町役場	森林整備計画打合せ	7
11月11日 日	龍ヶ谷の森	林内整備 除伐、下草刈り、ツル切り	14
11月11日 日	くるみ小屋	林内整備	8
11月17日 土	県民活動総合センター(伊奈町)	彩の国いきいきフェスタ 参加	1
11月17日 土	朝霞市 朝霞の森広場	県農林業ドリームフェスタ 参加	11
11月18日 日	朝霞市 朝霞の森広場	県農林業ドリームフェスタ 参加	11
11月18日 日	県民活動総合センター(伊奈町)	彩の国いきいきフェスタ 参加	1
11月18日 日	長福寺の森	下見活動	1
11月18日 日	武蔵野の森総合スポーツプラザ	全国青樹祭	4
11月24日 土	長福寺の森	林内整備 下草刈り、落枝、枯損木処理	31
11月25日 日	緑の森博物館	除伐、倒木処理	20
11月30日 金	世界無名戦士の墓公園	梅園小5年生 間伐体験支援	26

自然のたより(46) 千両・万両

正月の飾り花には縁起物として千両が付き物です。千両といえは万両と、続いて百両・十両・一両と呼ばれる植物がありいずれも赤い実をつけます。今回はこのラインナップについての紹介です。

まず、万両はサクラソウ科で常緑低木、森林や雑木林の林床によく見られます。千両はセンリョウ科でやはり常緑低木ですが、暖地性なので私達のフィールドでみかけることはほとんどありません。花屋には正月用にたくさん出回りますが、園芸屋育ちです。次にあまりなじみの無い百両です。カラタチバナ(唐橘、ヤブコウジ科)が正式名で常緑低木、葉が細長く先がとがっています。これもあまり見かけません。十両はお馴染みのヤブコウジ(藪柑子、ヤブコウジ科)で、これは雑木林の林床にカーペットのように広がって美しさに驚くことがあります。最後に一両ですが、アリドウシ(蟻通、アカネ科)で極小のトゲがたくさんあって蟻をも突き通すというのが名前の由来のようです。これは越生の活動地に所々散在しています。手入れに入る時、リーダーから残すようにと言われますが、埼玉県のレッドデータリスト(VU)ですので、大切にしましょう。名前は一両と一番軽いですが、存在価値としては重いのですね。(No. 647 賀登 環 川越市)

実生から育つた
カラタチバナ



林床を覆うヤブコウジ



アリドウシ

■小川町「高谷の森と植樹祭」

新しい植栽地の決定が上古寺の針葉樹植栽活動以後検討課題でした。杉戸農業高校への支援活動の一つが植樹体験授業でありましたし、今後の我々の活動としても必要なものです。そうした状況のなか小室専務の尽力により平成28年始め中央部森林組合から小川町の2か所の作業候補地の提案があり現地下見を実施し、アクセスの良さ、高低差が小さく活動しやすい事を勘案して高谷の森に決定しました。0.4ha檜林を皆伐したあと広葉樹の森に再生する活動が平成28年11月11日「高谷の森 杉戸農高植樹支援」として実現しました。当時、小雨の降る寒い中泥んこになり支援して戴いたサポーターの皆様にはご苦労様をかけました。下草刈り、除伐等の活動を続けたところで新たに隣接林の整備の話をしていただきました。隣接する新活動地も檜林でしたが皆伐をされ3370㎡の面積となっています。今年度はじめから下草刈りをして秋の植栽の準備を進め「TOYOTA SOCIAL FES 2018」として10月20日、埼玉新聞社主催で一般参加者を公募し植樹祭を開催する運びとなりました。埼玉県・埼玉環境保全プロジェクトとしてトヨタ自動車本県で第2回目となる「高谷の森で植樹しよう！」をテーマに埼玉新聞に大きく募集広告を掲載、PRチラシからも告知されました。

中央部森林組合にて畑部長、埼玉新聞天野氏、霜触会長、小室専務、世話役を交え入念な打合せを行い森林組合からも応援を仰ぐこととなり、500本の広葉樹植樹の準備が具体化しました。しかしながら下草刈り地拵えの作業は雨天中止が続いて冷や冷やの連続でしたがサポーターのパワーで間に合うことが出来ました。ヤマザクラ、コナラ、イロハモミジ、ヤマグリ、アカマツ500本。一般公募者を迎えて、晴天に恵まれた10月20日、無事、植樹祭開催となりました。

〈No.646 梶田 力 鶴ヶ島市〉



地拵え（じごしらえ）の様子

□植樹祭当日



10月20日高谷の森で、埼玉新聞社と共催で「トヨタ・ソーシャル・フェス・2018」として、植樹イベントが開催された。前日までは、秋雨前線雨の日が続きましたが、久しぶりの好天に恵まれ、青空でした。応募された参加者31名、中にはお子様連れもいました。10時開会式、10時30分植樹作業スタート。1人約15本前後の植樹で、参加者は汗をかきながらの慣れない作業で、それでも10年、15年後の武蔵野の雑木林の姿を思い浮かべながらの作業で、参加者は皆満足そうでした。そういう姿を見ていると、私たちメンバーも同様に充実した気持ちにさせられた。今日は事前準備等のため、通常の開始時間よりも30分早く8時集合となり、また、苗の到着後の荷下ろしのため、更に30分早く7時30分に集合していただいた一部のメンバーの方には大変助かりました。メンバー22名の多くの参加をいただき、感謝です。今後も特に、対外的な植樹イベントには多くの人手が必要でもあり、また、サポータークラブを知っていただく絶好のチャンスでもあり、一人でも多くの会員の方の参加を是非お願い致します。改めて22名の参加ありがとうございました。

(No. 522 岡田豊国 東松山市)



■11月4日(日)越生町「黒山」での活動

「オオーッ。かなりスッキリした！明るくなった！」ふと手鋸を休め、かなり下になった林道を見下ろす。空を仰ぐ。このスガスガシサがたまらない！世話役の要請に従ってトップハンドルソーを持参した人と手作業2人の3人で1チームを作り、計4チーム12人で除伐をした。黒山の森は急斜面。時折ズルッといくのに注意しながらジワジワ上へ攻めてゆく。黒山の森は急斜面。上下作業になりがちなところを、声を掛け合い、協力してゆく。黒山の森は急斜面。だから若い方々にもっと参加願いたい。おみやげは、直径20cmはある獅子柚子(鬼柚子?)。家に帰ると「ナニコレ!」「スゴイだろ!」。しばらくの間、テーブルに飾ることになりました。

(No.790 山根義之 朝霞市)



■11月17日(土)・18日(日)朝霞市 朝霞の森広場「食と農林業ドリームフェスタ」

ドリームフェスタへの出展は、森林サポータークラブが発足した時に、PRと会員拡大、くるみ小屋の建築資金を確保するために始まりました。森林で捨てられていたもの、例えば、桧を玉切りして残った枝や先端部分、絡まっていた蔓、刈り払われた篠竹、間引きされた竹、木の実などを材料にして、作品に仕上げ、展示即売を行い、20年の歴史があります。その間、作品を作っていたメンバーがくるみ工房を組織し、くるみ小屋の完成後は売上金の一部をクラブに寄付しています。今では作品にヒョウタンも加わり、森林の素材を使った手作り教室、素材そのものの展示即売も行っています。今年は朝霞市で開催され、約90人の子供達がテイダ松のクリスマスツリーや蔓と木の葉を使ったリース、ドングリのトロを作っていました。

(No.82 香取由美 川口市)



■11月30日(金)越生町「梅園小学校間伐体験支援」



小春日和、紅葉日和、活動日よりの一日でした。児童9名、教員2名、役場職員・川越農林振興センター職員各1名、クラブ員10名参加。午前中(9時30分集合)間伐予定地の整備、選木等。午後(14時~)子供達との作業。1時間程の活動。子供達からは山の木を切るという特別な体験をありがとうの意見多数。最後の三田クラブ員提供の「竹とんぼ」が楽しかったと数名から。越生の自然を守りたいとの将来が楽しみな声もありクラブ員の「やりがい」にも繋がったかな。反省点については安全第一をさらに「キモ」に命じなければのアクシデントがありました。木の中心部が腐っていて目指した方向と90度違った方向へ倒れました(谷方向)。選木は適当であったか?(木の形状、樹高、ロープの方向、子供の足場を優先したが山側に引いた方が良かったのではなかったか)等。

(No.630 鈴木久代 越生町)

■12月1日(土)小川町「自性院」

自性院の裏手の山林は、樹齢30年から40年の檜や杉が立派な林を形成しています。これは我が森林サポータークラブが15年前から間伐や除伐、真竹やすすき等の除去を行った結果によるものです。この山林は先輩たちが「巻き枯し」の手法を実験したところでもありとも聞いております。今回で尾根から裾までの間伐が完了しましたので、自性院の森を計画的に整備することは、取り止めとすることになりました。その旨住職にお話すると「毎年2回皆さんがお出で下さっていたが寂しくなりますね。有難う御座いました。」とのお言葉を頂きました。今後は時々見回りをして必要に応じ整備計画を立てたいと思います。みなさんご苦労様でした。

(世話人 No.707 菅谷 榮 さいたま市)



越生ふれあいの里山活動（越生町）

■9月8日(土)「越生ふれあいの里山活動」
豪雨により路肩が崩落しさくら公園駐車場への道路は3ヶ月程通行不可となり、8月末復旧工事は完了しました。チェーンソー実技講習日の初日と並行しボランティア小屋の上部にある杉戸農高植栽地の下草刈を行いました。参加者は7名、以前盛り上がっていたボサの部分は大部分沈み込み作業のし易い状態でした。上部の急斜面を除き下草刈は終了しました。



下草刈参加メンバー

■10月14日(土)「高谷の森」植栽準備活動へ変更
■11月11日(日)「龍ヶ谷の森活動」
ドコモ、杉戸農高、新日本無線、梅園小の植栽地「B地区」の植栽木の蔓切り、枝落とし作業を行いました。所どころ鹿の食害痕が見られましたが樹木は大きく生育しています。次回は陽当りの良い「A地区」の雑木、ススキなどの除伐の予定です。
(越生ふれあいの里山担当 No.718 片野健一 川越市)



鹿防護ネットのポール回収

緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■9月23日(日)下刈、除伐
動力班は1・2班に分かれ刈払機でO地区(0.5ha)の下刈。人力班は所沢地区で除伐を行いました。
■10月28日(日)八幡神社保存会支援活動＝落葉掃き準備
先ず始めに全員で小枝を集め、その後チェーンソーによる倒木の処理及び刈払機による下刈。人力班は集めた小枝を運搬し集積場所に運びました。

■11月25日(日)除伐、倒木の処理
緑の森博物館周辺では、台風24号による倒木がアチコチに見受けられます。クラブが埼玉県と協定を結んでいる所も被害に遭いました。倒木8本をチェーンソー班8名で処理してもらいました。人力班は所沢地区で除伐を行いました。

(緑の森博物館担当 No.427 伊東喜寿 入間市)



神泉の森活動（神川町 くるみ小屋）

くるみ小屋のリフォーム計画
平成14年にくるみ小屋が完成し、15年が経ちました。玄関とテラス周りは雨がかかってしまい痛みやすいので下屋根を付ける事になりました。材料を調達するため、皮むきが楽な9月から周りの桧を間伐し始めました。10月は浅見さんから枝豆を今年もいただけることになり、軽トラ2台分を畑で収穫、くるみ小屋で枝から豆を摘ぎ、塩ゆで、鞘から豆を取り出し、薄皮を取り、つぶして餡にして、2kg餅米を炊いて、80個のずんだおぼろを作りました。とっても美味しかったです。11月はまた間伐です。今年は暖かいせい、皮むきが楽にできましたが、材料はまだ足りません。12月16日(土)は恒例の餅つきで1年を締めくくりました。

(No.82 香取由美 川口市)



餅つき大会

「クラブ員の声」欄への投稿を200字程度でお願います。

会員発言

今年の春から参加している金子と申します。平日はフルタイムのサラリーマンとして、毎日川口から東京方面へ通勤しています。自然を身近に感じさせてくれる森林の機能に関心がある一方で、林業とくに自伐型林業にも興味があります。今春以降刈払機とチェーンソーの研修も終了したので、クラブの活動の中で機械作業にもチャレンジしていきたいです。週末(たまに水曜日とかありますが)は浦和レッズの試合観戦で忙しいですが、リーグシーズンオフの冬場は山の活動に集中したいと考えています。できる範囲で活動に参加いたしますので、今後ともよろしく願いいたします。(移動時間がかかるので活動場所を県東部方面にも拡大いただければありがたいです！)。

(No.792 金子令治 川口市)

シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

第26話『原子力に勝るとも劣らない原始力な薪』

薪の暖かさや癒しの効果、自然と接する生活スタイル、環境やエネルギーへの関心などの理由から、僕の本業である住宅設計において薪ストーブを希望される方が増えてきていることを感じます。振り返って我が家の場合ですが、平成7年に自宅を新築(&結婚)した際、“薪の生活”なんて絶対イヤ！と言う妻の反対を押し切って薪ストーブを入れ(てしま)いました。僕自身それまで薪ストーブの経験は全く無く、使い勝手も何も知らず、ただ子供の頃の焚火の記憶から漠然と火を燃やしたいという想いだけは強くあり、『原始的な薪なんてパチパチ燃えるだけで大した暖房にはならないだろうけど、家の中で火が燃やせればそれで充分』といった気持ちで薪ストーブを入れました。ところが実際使ってみて、ガス・灯油・電気の暖房とは比べものにならない程の薪の暖かさを初めて知り、それは正直驚きでした。反対していた妻も、想像以上の暖かさで部屋には煙も臭いも出ないことを実感すると、“薪の無い生活”なんて絶対イヤ！と薪ストーブ愛好家に転身しました。以来、我が家の冬の暖房は薪のみ、薪が無いと冬が越せません！？

(No.30 木島 浩 寄居町)



シリーズ 森林の100不思議

木材の腐朽・分解是一群の菌類によって引き起こされますが、それらを総称して木材腐朽菌類と呼んでいます。木材腐朽菌類の大部分は、担子菌類と呼ばれるグループ(いわゆるきのこの仲間)に属しています。木材腐朽菌類は、森林の中で倒木や落枝を分解して土に戻すという、森林の物質循環にかかわる重要な役割を果たしています。しかし一方で、一部の菌類は生きている木の幹や根を腐らせ、私たちに不利益をもたらします。生立木の腐朽は部位により、枝の腐朽、幹の腐朽、根株腐朽に類別できます。このうち特に問題になるのは幹と根の腐朽です。また、心材と辺材のどちらをおもに腐らせるかにより、心材腐朽と辺材腐朽に分けられます。これらの腐朽型は、その原因となる菌の種類に特有なものです。いくつかの例をあげますと、幹部心材腐朽菌には、マツノカタワタケ(カラマツ)、チウロコタケモドキ(カラマツ、モミ類)、マスタケ(針・広葉樹)、コブキササルノコシカケ(広葉樹)などがあり、幹部辺材腐朽菌にはモミサルノコシカケ(モミ類)、チヤアナタケモドキ(スギ・広葉樹)などがあります。根株心材腐朽菌にはカイメンタケ、レンガタケ、ハナヒラタケ(カラマツ、エゾマツ、トドマツ)、マツノネクチタケ(エゾマツ、トドマツ)、キノメタケ(ヒノキ、広葉樹)などがあり、根株辺材腐朽菌にはナラタケ(針・広葉樹)などがあります。多くの場合、腐朽病は子実体(きのこ)でつくられた胞子によって感染します。幹部腐朽菌は、枯れ枝や枝・幹の傷(凍裂、落雷、雪折れ、鳥獣や虫による)から侵入します。このため、枯れ枝は早目に取り除くことが必要です。根株腐朽菌は幹の根元部分の傷や死んだり傷ついた根から侵入します。また林の中に切株があると根株腐朽菌はまずその切株に侵入し、その株の根が周りの生きた木の根に接していると、接触部から健全な木にも侵入して腐らせます。欧米ではこれを防ぐため、伐採後すぐに生立木にはつかない腐朽菌を切株に植えて腐らせ、生立木腐朽菌が侵入しないようにしている例もあります。木材の腐朽は長い時間をかけてゆっくりと進行します。材の腐りやすさは木の種類によって違いますが、それはおもに材に含まれている抗菌性物質の違いや量によるものです。しかし、実験室内で確かめられた材の耐久性と自然状態の生立木の腐朽しやすさとは必ずしも一致しません。一般にスギ・ヒノキは材質腐朽病が少ない木ですが、近年、穿孔虫が侵入したあとの材の変色・腐朽が大きな問題となっています。立木の幹や枝、あるいは根元にきのこ(特にサルノコシカケの仲間)が出ていたら、その材は腐朽しているとみななければなりません。しかし、発生したきのこの様子から内部の腐朽状態を知ることはできませんし、キノコが出ていない時は腐朽の有無さえわかりません。このため、木の内部の腐朽を診断する方法がいくつか考えられています。成長錐を使って材の一部を取り出したり、木材の電気抵抗を調べたりする方法ですが、どちらも幹や枝に穴をあけなければなりません。最近、超短波を使った診断法が考えられていますので、幹に傷を付けずに調べることができるようになるかもしれません。(社団法人日本林業技術協会編 森林の100不思議より抜粋)

□平成30年も大過なく無事故で、活動を終わることができました。皆様に“感謝”

□新会員のご紹介

795 馬場 みちるさん(朝霞市)

11月27日に入会されました。皆様、宜しくお願ひ致します。

□小寺 八太郎さん(朝霞市)より御寄附を頂きました。ありがとうございました。

平地林の整備(下草刈り枯損木処理)を、下見を入れて4回の活動で完了しました。ご協力頂いた会員の皆様、ありがとうございました。感謝。

□くるみ工房の皆さんからご寄付を頂きました。様々なイベントで活躍するくるみ工房の皆さんから今回も34,540円の寄付を頂きました。

川越市霞ヶ関西小学校4年生の自然学習支援報告



この学校は川越市の西の端にあり、周りには南小畔川や雑木林がある自然に恵まれた環境です。この地区にはまだまだ雑木林が残っていますが、次第に宅地に変わりつつあります。その中で個人所有の6haの「笠幡の森」が森林サポータークラブにより手入れされています。地主の承諾を得て、自然学習を始めることになりました。これが一昨年の10月のことで、今年3年目になり、11月2日(金)に実施しました。当日は天気もよく、4年生3クラス、100人余が参加しました。この雑木林の手入れはできるだけ、在来の種を残す方法なので、ムラサキシキブやマンリョウなど実を付けた低木や下草が見られます。高木層もコナラ、クスギ、アカマツ、ヒノキと豊富です。子どもたちの生き物を見つける眼力には驚くばかりで、我々が下見をしたときは乏しい印象でしたが、朽ち木の下や草むらの虫など結構みつけました。マクラギムカデ、カナヘビ、ヤスデ、ゲジゲジ、なんとニホンアカガエルも見つけました。



水場のない雑木林でどうやって生きているのか不思議です。ここにはヘビもいますので意外、ひっそりと生態系が出来ているのかもしれませんが。落ち葉をめぐっていくとだんだん土になっていく様子もわかったようです。滞在時間の1時間はあっという間に過ぎてしまいました。お土産にコナラ、ヒノキの玉切りをプレゼントしましたので、教室で木の香りや年輪を数えて楽しんでくれることでしょう。今回は沖本、菅家、菊池、小杉、賀登勉、霜触、賀登環の7名で対応しました。

(報告 No.647 賀登環)

森林(もり)を育てる道具

チェーンソー講習会を終了した皆さんお疲れさまでした。チェーンソーの使用に関しては色々な保護具の着用、使用が義務付けられています。それだけ危険が多いということですから今後の使用に当たっては十分注意してケガや事故の無いように注意し周囲(樹高×2倍)への気配りもお願いいたします。チェーンソーは木を切るための道具ですから持つと切りたくなるのが当たり前ですがなぜ切るのかどうやって切るのか切った後どうするかを考えてください。初心者のうちは指示された作業ができるようになるのが一杯でしょうがなぜどうしてと考えるのが上達の早道です。杉やヒノキ林では間伐をすることが森を育てることになりますが龍ヶ谷の森、宝登山の森などの雑木を植栽した山では手入れの方法が変わってきます。花を見る木、実の成る木で枝の扱いが変わるでしょう。木を切る道具でなく森林を育てる道具になるかは使う人の気持ち次第です。ぜひ森林を育てる道具としての活用をお願いいたします。 No.317 菅家征史

編集後記

平成30年は1月の本白根山噴火に始まり、6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、9月台風21号により関西空港水没、北海道胆振東部地震と自然災害の非常に多い年でした。また、7月半ばから連日40度越える酷暑が続き、熊谷では最高気温41.1℃と5年ぶりに記録を更新しました。このような状況にもかかわらず、サポータークラブでは事故もなく、ほぼ予定通りの活動ができました。平成31年は4月まで、5月から新元号となります。サポータークラブでも、新たな気持ちで安全第一、無理せず、楽しく、長く活動していきましょう。

(No.722 利根川 雅実)

■入会のご案内

私達の活動は、多くの人々のご協力によって支えられています。ご賛同・ご支援を宜しくお願いします。

- ・入会金：個人 2,000円／団体 10,000円
- ・年会費：個人 3,000円／団体 10,000円
- ・賛助会員：年会費一口 5,000円

活動スケジュール (2019年1月・2月・3月・4月)

月日 曜日	フィールド	活動内容	集合場所
1月3日 木	神川町 くるみ小屋	安全祈願	神川町大字上阿久原 くるみ小屋
1月4日 金	所沢市 緑の森博物館	安全祈願	所沢市糞谷78 八幡神社
1月6日 日	越生町 越生ふれあいの里山	安全祈願 林内パトロー	虚空蔵尊 越生町上野2260先右折 さくら公園駐車場
1月12日 土	小川町 鷹ノ巣の森	枝打ち	小川町鷹巣680 鷹ノ巣の森 現地
1月17日 木	越生町 野末張見晴台	樹園小 6年生植樹体験支援	越生町龍ヶ谷963(集合は大満農村広場)11時
1月19日 土	ときがわ町 ときがわの森	枝打ち	ときがわ町西平 越瀬橋の手前 左前方の林道に入る すぐ
1月20日 日	神川町 くるみ小屋	クラフト教室	神川町大字上阿久原 くるみ小屋
1月26日 土	三芳町 江戸屋弘東園	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園の前 駐車場
1月27日 日	所沢市 緑の森博物館	間伐・除伐	所沢市糞谷78 八幡神社
2月9日 土	三芳町 江戸屋弘東園	予備日 落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園の前 駐車場
2月10日 日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先右折 さくら公園駐車場
2月16日 土	川越市 笠幡の森	林内整備	川越市笠幡1953 林内道路脇
2月17日 日	神川町 くるみ小屋	下草刈り	神川町大字上阿久原 くるみ小屋
2月24日 日	所沢市 緑の森博物館	間伐・除伐	所沢市糞谷78 八幡神社
3月3日 日	ときがわ町 ときがわの森	枝打ち	ときがわ町西平 越瀬橋の手前 左前方の林道に入る すぐ
3月9日 土	毛呂山町 滝ノ入の森	間伐・除伐	毛呂山町滝入585 ゆずの里オートキャンプ場駐車場
3月15日 金	さいたま市市民活動支援S	理事会	JR浦和 東口バルコ9階 ミーティングコーナー
3月16日 土	川越市 笠幡の森	林内整備	川越市笠幡1953 林内道路脇
3月17日 日	神川町 くるみ小屋	下草刈り	神川町大字上阿久原 くるみ小屋
3月21日 木	越生町 龍ヶ谷の森	竹原氏記念植樹 準備	越生町大字大満257 大満農村広場
3月23日 土	越生町 龍ヶ谷の森	竹原氏記念植樹	越生町大字大満257 大満農村広場
3月24日 日	所沢市 緑の森博物館	間伐・除伐	所沢市糞谷78 八幡神社
3月27日 水	さいたま市市民活動支援S	ニュース原稿印刷 編集会議	JR浦和 東口バルコ9階 ミーティングコーナー
3月30日 土	越生町 黒山の森	除伐	越生町黒山771 現地
4月7日 日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	虚空蔵尊 越生町上野2260先右折 さくら公園駐車場
4月13日 土	越生ふれあいの里山	オークネット 森林体験支援活動	虚空蔵尊 越生町上野2260先右折 さくら公園駐車場
4月20日 土	越生ふれあいの里山	オークネット 予備日	虚空蔵尊 越生町上野2260先右折 さくら公園駐車場
4月21日 日	神川町 くるみ小屋	小屋周辺森林整備	神川町大字上阿久原 くるみ小屋
4月27日 土	笠幡の森	竹林整備	川越市笠幡1953 林内道路脇
4月28日 日	入間市 緑の森博物館	下草刈り	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
4月28日 日	越生町 黒山の森	間伐・除伐	越生町黒山771 現地

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時は、事務局まで連絡を！

※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■越生ふれあいの里山 (越生町)

毎月第2日曜日活動 (担当: 片野健一・鈴木久代・榎石亜由美
菊池修一郎)

■緑の森博物館 (入間市)

毎月第4日曜日活動 (担当: 伊東喜尋・岡田 了)

■神泉の森 (神川町 くるみ小屋)

毎月第3日曜日活動 (担当: 大島康行・香取由美)

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2019年1月1日発行 (年4回発行)

■発行: 特定非営利活動法人 (NPO法人)

埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者: 霜触 賢

■編集スタッフ: 木島 浩・北村 博・梶田 力・沢田 正・小室正人・利根川雅実・香取由美・星 直次郎・榎石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国

■事務局: 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9

農林会館B1 〒330-0063

TEL. 048-814-2770/FAX. 048-814-2771

<事務局開設日: 月・水・金> 10時~17時

■事務局メールアドレス

info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス

http://www.shinrin-supporter.org/